

# 平成23年度第2四半期までの運用状況等

(平成23年4月～9月)

独立行政法人農業者年金基金は、年金資産の安全かつ効率的な運用を行っており、法令に基づき策定しました「独立行政法人農業者年金基金中期計画」において、四半期ごとに運用に関する情報を、本資料をもってホームページで公表することとしております。

なお、毎年6月末日までに被保険者等の皆様に送付させて頂いております「運用（付利）結果のお知らせ」の基礎となります前年度の運用成績につきましては、毎年度の末日における運用収入の額が基準となります。

当基金が行っています年金資産の運用については、金融・経済情勢等の運用環境の影響により、短期的には、運用成績がプラスになる年やマイナスになる年がありますが、長期的な運用により安定した運用収益を上げることが期待されます。

今後とも、安全かつ効率的な運用を徹底して参りたいと思っておりますので、皆様のご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 【参考】

独立行政法人農業者年金基金中期計画（平成20年3月31日認可）－抜粋－

### 2 年金資産の安全かつ効率的な運用

(4) 年金資産の構成割合、運用成績等については、四半期ごとにホームページで情報を公開するとともに、加入者に対して、毎年6月末日までにその前年度末現在で評価した個々の加入者に係る運用結果を通知する。

# 目 次

	頁
1. 平成23年度第2四半期まで（平成23年4月～9月）の運用環境について . . . . .	1
2. 平成23年度第2四半期まで（平成23年4月～9月）のポートフォリオ別の運用状況 . . . . .	2
3. ベンチマーク・インデックスの推移 . . . . .	4
参考：用語の説明 . . . . .	5

## 1. 平成23年度第2四半期まで（平成23年4月～9月）の運用環境について

### ○国内外の金融・経済情勢について

#### （第1四半期）

第1四半期の国内外株式市場は、4月は東日本大震災による業績悪化懸念等から国内株式は軟調だった一方で、米国の良好な経済指標等から外国株式は堅調に推移しましたが、5月以降は欧州財政懸念や世界的な景気減速懸念の強まり等から世界的に株価は下落基調となりました。

#### （7月）

7月は、米国経済指標の改善等を受けて国内外株式は上昇する場面もありましたが、米雇用統計が予想を大幅に下回ると、米国景気減速懸念や欧州財政懸念から国内外株式は下落、月末にかけては米国債務上限引上げ交渉を巡る混乱等から更に下落し、日経平均株価は1万円割れとなりました。

#### （8月）

8月は、月初に円売り介入が実施されましたが、世界的な景気減速懸念や欧州財政懸念を背景とした逃避的な円買いの動きから、一時対ドルで75円台まで円高が進みました。国内外株式は、世界的な景気減速懸念の強まりや米国債格下げを受けて大幅下落しました。国内長期金利（10年国債利回り）は、株安を受けて1%割れの水準まで低下しました。

#### （9月）

9月は、米国経済の先行き懸念の強まりや欧州債務問題の深刻化等を背景に、国内外株式は下落基調となりました。21日のFOMC声明において米国経済の下ぶれリスクが言及されると世界的に株安が進行、日経平均は一時震災後の最安値を更新しました。国内長期金利（10年国債利回り）は、1%を挟んだ水準で推移、米国10年国債利回りは欧米景気の先行き懸念等から一時1.6%台をつける等、利回りは低下しました。為替は、対ドルでは76～77円台でほぼ横ばい、対ユーロでは欧州財政問題の深刻化から円高が進みました。

## 2. 平成23年度第2四半期まで(平成23年4月～9月)のポートフォリオ別の運用状況

### ① 被保険者ポートフォリオ

平成23年度第2四半期まで(平成23年4月～9月)の被保険者及び待期者に係る資産の運用状況は、次表のとおり、平成23年9月末の時価総額は1,447億38百万円となり、第2四半期までの総合収益は-52億17百万円となりました。また、修正総合利回りは-3.51%となりました。

(単位:百万円、%)

資 産	平成22年度末 時価総額 ①	第2四半期までの 保険料・国庫補助 投下額等②	計 ③=①+②	平成23年9月末 時価総額 ④	時価総額 構成割合	第2四半期までの 総合収益 ⑤=④-③	(参考) 修正総合 利回り ⑥
国内債券	101,560	1,050	102,610	104,054	71.9	1,445	1.41
自家運用	51,418	231	51,650	52,014	35.9	364	0.70
外部委託	50,142	818	50,960	52,040	36.0	1,080	2.12
国内株式	18,029	1,830	19,859	17,759	12.3	-2,100	-11.14
外国債券	7,579	167	7,746	7,493	5.2	-253	-3.27
外国株式	18,595	966	19,562	15,282	10.6	-4,280	-22.78
短期資産	328	-150	178	149	0.1	-29	-6.37
合 計	146,091	3,864	149,955	144,738	100.0	-5,217	-3.51

- (注) 1. 「平成22年度末時価総額①」欄は、平成22年度決算整理後の額となっています。  
 2. 国内債券のうち自家運用(満期保有分(基本的に50%))については、償却原価法を適用しています。  
 3. 「第2四半期までの保険料・国庫補助投下額等②」欄は、受給権者経理への繰入額及び死亡一時金の給付額を控除しています。  
 4. 信託報酬、有価証券の保管手数料及び外貨流動性預金に係る為替評価損益等は、短期資産で整理しています。  
 なお、外貨流動性預金に係る為替評価損益等を整理する前の短期資産の利回りは、自家運用分が0.01%、外部委託分が0.001%となりました。  
 5. 単位未満を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります(以下同じ)。

(参考)

平成23年度第2四半期(平成23年7月～9月)の運用状況

(単位:百万円、%)

資 産	平成23年6月末 時価総額 ①	第2四半期保険料・ 国庫補助投下額等②	計 ③=①+②	平成23年9月末 時価総額 ④	時価総額 構成割合	第2四半期総合収益 ⑤=④-③	(参考) 修正総合 利回り ⑥
国内債券	103,669	-343	103,326	104,054	71.9	729	0.70
自家運用	51,938	-108	51,830	52,014	35.9	184	0.35
外部委託	51,731	-236	51,495	52,040	36.0	545	1.05
国内株式	18,335	1,141	19,476	17,759	12.3	-1,717	-9.21
外国債券	7,933	-139	7,794	7,493	5.2	-301	-3.81
外国株式	18,052	1,158	19,210	15,282	10.6	-3,928	-21.28
短期資産	247	-82	165	149	0.1	-16	-4.45
合 計	148,236	1,735	149,971	144,738	100.0	-5,233	-3.51

## ② 被保険者危険準備金ポートフォリオ

平成23年度第2四半期まで(平成23年4月～9月)における付利準備金及び調整準備金の運用状況は、次表のとおりとなっています。

(単位:百万円、%)

区 分	資 産	平成22年度末 時価総額 ①	第2四半期までの 繰入額等②	計 ③=①+②	平成23年9月末 時価総額 ④	第2四半期までの 総合収益 ⑤=④-③	(参考) 修正総合 利回り ⑥
付利準備金	短期資産	1,034	1	1,035	1,036	0.9	0.09
調整準備金	短期資産	941	-13	927	928	0.7	0.08
合 計		1,974	-13	1,962	1,963	1.6	0.08

(注) 1. 「平成22年度末時価総額①」欄は、平成22年度決算整理後の額となっています。

2. 「第2四半期までの繰入額等②」欄では、被保険者ポートフォリオからの受入額と、受給権者危険準備金ポートフォリオへの繰入額の差額を計上しています。

## ③ 受給権者ポートフォリオ

平成23年度第2四半期(平成23年4月～9月)における受給権者に係る資産の運用状況は、次表のとおりとなっています。

(単位:百万円、%)

資 産	平成22年度末 時価総額 ①	第2四半期までの 繰入額等②	計 ③=①+②	平成23年9月末 時価総額 ④	第2四半期までの 総合収益 ⑤=④-③	(参考) 修正総合 利回り ⑥
国内債券	6,752	1,489	8,241	8,523	283	3.88
短期資産	132	243	376	376	0.0	0.02
合 計	6,884	1,732	8,616	8,899	283	3.75

(注) 1. 「平成22年度末時価総額①」欄は、平成22年度決算整理後の額となっています。

2. 「第2四半期までの繰入額等②」欄では、被保険者ポートフォリオからの受入額と、年金及び死亡一時金の給付額の差額を計上しています。

## ④ 受給権者危険準備金ポートフォリオ

平成23年度第2四半期(平成23年4月～9月)における受給権者に係る調整準備金の運用状況は、次表のとおりとなっています。

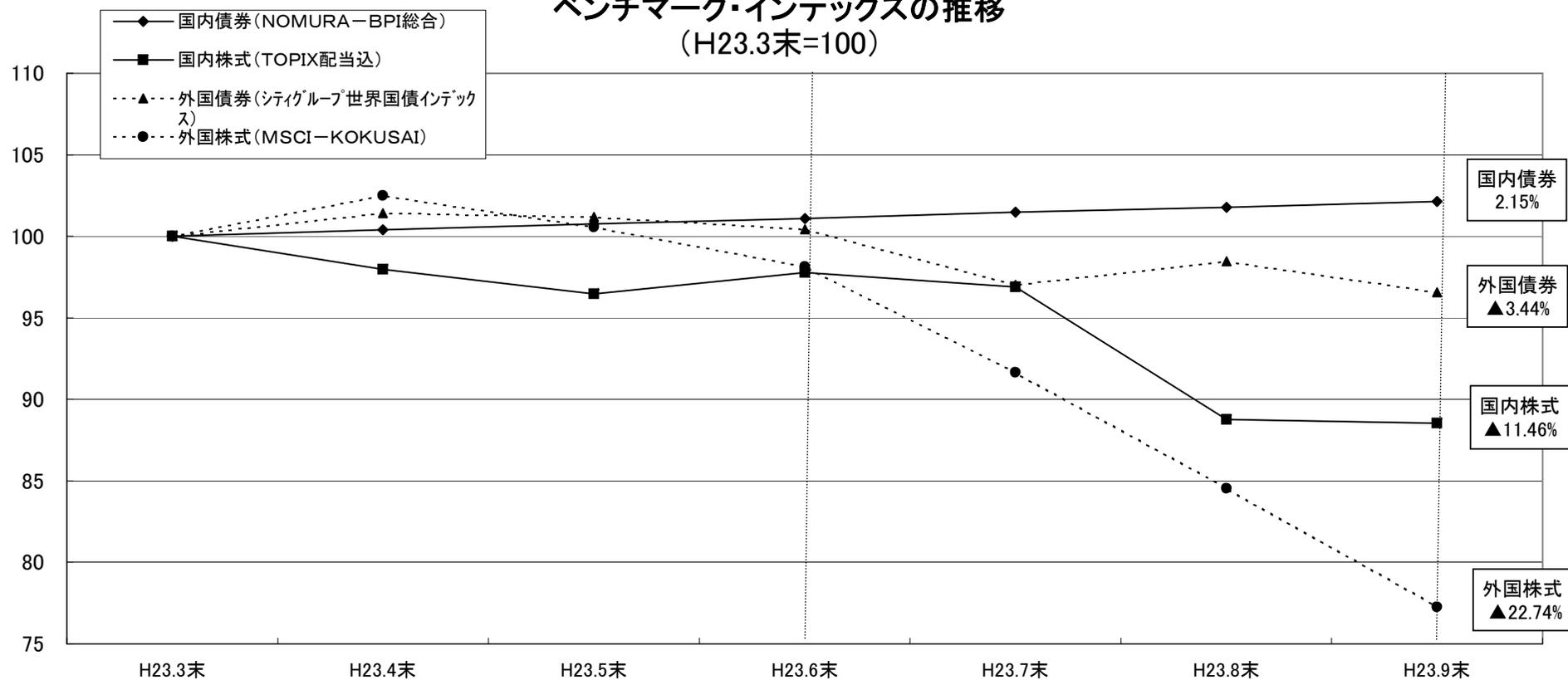
(単位:百万円、%)

区 分	資 産	平成22年度末 時価総額 ①	第2四半期までの 繰入額②	計 ③=①+②	平成23年9月末 時価総額 ④	第2四半期までの 総合収益 ⑤=④-③	(参考) 修正総合 利回り ⑥
調整準備金	短期資産	575	77	652	652	0.4	0.08

(注) 1. 「平成22年度末時価総額①」欄は、平成22年度決算整理後の額となっています。

2. 「第2四半期までの繰入額②」欄では、被保険者ポートフォリオからの受入額及び被保険者危険準備金ポートフォリオからの受入額の合計額を計上しています。

## ベンチマーク・インデックスの推移 (H23.3末=100)



### ○運用環境

	平成23年3月末	平成23年6月末	平成23年9月末
国内債券(新発10年国債利回り)	1.249 %	1.131 %	1.025 %
(NOMURA-BPI総合)	328.522 ポイント	332.090 ポイント	335.574 ポイント
国内株式(日経225)	9,755.10 円	9,816.09 円	8,700.29 円
(TOPIX配当込)	1,102.75 ポイント	1,078.22 ポイント	976.39 ポイント
外国債券(米国10年国債利回り)	3.472 %	3.161 %	1.916 %
(独10年国債利回り)	3.354 %	3.025 %	1.887 %
(シテグループ世界国債インデックス)	290.67 ポイント	291.94 ポイント	280.68 ポイント
外国株式(NYダウ)	12,319.73 ドル	12,414.34 ドル	10,913.38 ドル
(独DAX指数)	7,041.31 ポイント	7,376.24 ポイント	5,502.02 ポイント
(MSCI-KOKUSAI)	1,209.121 ポイント	1,186.748 ポイント	934.118 ポイント
為替レート(対ドル)	82.88 円	80.76 円	77.08 円
(対ユーロ)	117.62 円	117.09 円	103.42 円

## 用語の説明

### ○ ポートフォリオ

資産を運用する際の保有資産の組合せのこと。また、組み合わされた運用資産全体を指すこともある(同義語 ファンド)。

### ○ 総合収益

利息、配当金や売買損益といった実現損益だけではなく、評価損益や未収収益を加味した収益のこと。

### ○ 修正総合利回り

総合収益を、運用元本に時価の概念を加味した残高で割って算出した収益率のこと。運用成績の開示に広く用いられている。

修正総合利回り = (総合収益) ÷ (運用元本平均残高 + 前期末評価損益 + 前期末未収収益)

### ○ ベンチマーク・インデックス

各資産の収益率を評価する基準となる指標のこと。

以下は、被保険者ポートフォリオにおけるそれぞれの資産のベンチマーク・インデックスとして、当基金が採用しているものである。

#### \* NOMURA-BPI総合

野村証券金融工学研究センターが作成している国内債券市場の指標。国内で発行された残存1年以上の固定利付円建債(A格相当以上)から構成される。国内債券市場の代表的な指標である。

#### \* TOPIX(配当込)

東京証券取引所が作成している国内株式市場の指標。東証一部全上場銘柄から構成される。国内株式市場の代表的な指標である。

#### \* シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし、円ベース)

シティグループ・グローバル・マーケット・インクが作成している外国債券市場の指標。主要各国(除く日本)が発行する国債から構成される。外国債券市場の代表的な指標である。

#### \* MSCI-KOKUSAI(源泉税控除前、配当再投資、円換算)

MSCI Incが作成している外国株式市場の指標。主要各国(除く日本)の証券取引所上場銘柄から構成される。外国株式市場の代表的な指標である。